

備前市事務事業評価表

事務事業名	子育て家庭応援カード交付事業	コード	02-01-01-14
		担当課・係	福祉事務所子育て支援係
		担当者	周藤和美
事業実施期間	平成18年～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	子育て支援	
		電話	64-1853

事業について	
目的 (何のために)	子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりを推進する。
対象 (誰・何を対象に)	妊娠中の人 小学校終了までの子どもがいる世帯
内容	岡山県の実施する協賛企業等が提供するサービスが受けられる子育て家庭応援カードを交付する。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
カード交付枚数	—	951 枚	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等			
	人件費	受益者負担 市債	人件費	受益者負担 市債	人件費	受益者負担 市債	人件費	受益者負担 市債			
合計	0	一般財源等	0	合計	1,235	一般財源等	1,235	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.20 人	
結果指標	カード交付枚数	
結果指標名	951	
結果指標量	枚	
単位	—	
対前年比	0.00%	
活動にかかるコスト	円	1,235,000 円
単位当たりコスト	円	1,299 円

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	未来を担う子どもたちの成長や子育てを社会全体で応援していくという意識の高まりや子どもを生み育てやすい環境づくりを推進できる。
成果指標名	カード交付枚数
式又は説明	カード交付枚数
成果指標量	17年度 0
対前年比	18年度 951
到達目標値	1,100枚
到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： <input type="checkbox"/> )	妥当性評価<A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	岡山県が企業や市町村との連携・協働により実施する子育て家庭応援カード事業は、社会全体で子どもたちの成長や子育てを応援していくという意識の高まりにつながり、備前市にとって子育てをしやすい環境づくりにつながることから協働で実施すべき事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> D
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	保育園、幼稚園、小学校等と連携を図りながらカードの交付を促進する。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	市広報誌等で周知しているが、最近では交付数が減少している。今後は、HP等の活用や対象者が集まる機会にカードのメリット等制度のお知らせをし、交付を促進する。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 福祉事務所、総合支所で交付事務を実施している。対象者が多く集まる子育てイベント等においてポスターを掲示する等、周知に努める。
目標値	結果指標量 951	結果指標量	
	成果指標量 1,100		

総合評価	子どもを生み育てやすい環境づくりにつながる事業であり、広くカードが行き渡るよう対象者が集まる機会等を利用して周知に努めることが必要である。	評価区分 <A~E> C
------	---	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	広報誌の活用や対象者が集まる機会を活用して制度の啓発を行う。	毎年	カード交付世帯の増加